



ロープ渡過訓練中も真剣そのもの（市消防本部で）



あいあい保育園で園児たちと一緒に遊びます



コンベヤーに一枚一枚丁寧にせんべいを載せていきます（島山製菓で）

3日間の貴重な体験 チャレンジ・ワーク14

実際に職場での体験を通して、勤労の尊さを学び、地域社会へ貢献しようとして、11月17～19日の3日間、牛窓中学校・邑久中学校の2年生が市内の72事業所で職場体験しました。

生徒たちは事業所で与えられた仕事をこなし、日ごろ経験できない貴重な体験をしました。

市消防本部でロープ渡過訓練を体験した田淵康弘君（牛窓中）は、「ロープ渡りは簡単そうに見えるけど、バランスを取るのが大変でした。規律訓練も指の伸ばし方など細かい指導を受けましたが、貴重な経験ができてよかったです」と、島山製菓（株）でせんべい選別の流れ作業を懸命にこなしていた末長涼子さん（邑久中）は「左下写真右」は、「二つひとつおせんべいやおかきを心を込めて作り、箱詰めを終えたときは、言葉で言い表せないほどのやりがいを感じました。島山製菓で学んだことを今後十分生かして、将来の役に立てたいと思います」と感想を述べました。

この体験学習は、今後将来に向けての進路決定などに、大いに役立つことでしょう。

国体成功に向け募金活動

邑久中3年に感謝状

国体に役立てようと募金活動を行った邑久中の3年生4人に、晴れの国おかやま国体・輝いて！おかやま大会実行委員会から感謝状と記念品が贈られました。地域で自分たちができることをしようとして総合学習で、7月ごろから週1回程度、邑久町内の街頭でポケットティッシュなどを配り、住民に募金を呼び掛け。その募金を県国体・障害者スポーツ大会局に寄付しました。この募金は、国体開閉会式や運営費用に活用されます。

伊達可南子さんは、「活動している時は、暑かったけれど楽しかったです。たくさんの人に、サッカーを見に来てほしいです」と話しました。



感謝状を手にする4人（左から戸崎麻衣さん、伊達可南子さん、石原悠里さん、玉村知佳さん）

自分たちの作った米でもちつき

おさふねDASH村収穫祭

おさふねDASH村収穫祭が11月28日、長船美しい森で開催され、市内の小学生や保護者39人が参加。もちつきに挑戦し、出来上がったもちやおむすびを食べ収穫を祝いました。

参加者たちは田植え・稲刈りなど一連の農作業をこなし、米450kg、もち米90kgを収穫

した。そのうち9kgのもち米を子どもたちが交代でつき、丸め、きな粉やしょうゆなど好みの味付け。保護者の皆さんが作った豚汁とおむすびを食べ、参加者全員で収穫の喜びをかみしめました。

「自分たちで作ったから味が違う」と井上開貴君（11歳・長船町土師）。「中腰で苗を植えるのは大変だったけど、自給自足はいものだ」と沖津秀平君（11歳・長船町福岡）は話し、出来上がったもちやおむすびを、おいしそうにほおばっていました。



みんなが見守る中、おいしそうなおもちが出来上がってきます

を植えるのは大変だったけど、自給自足はいものだ」と沖津秀平君（11歳・長船町福岡）は話し、出来上がったもちやおむすびを、おいしそうにほおばっていました。

大会の成功に感謝

高校総体牛窓町実行委員会

平成16年度全国高等学校総合体育大会牛窓町実行委員会第3回総会が11月26日、牛窓町総合福祉センターで開催され、約60人が出席。8月20～24日まで開催された高校総体ヨット競技に備え、地域を挙げて取り組み、多くの感動と成果を上げたことなどが報告されました。実行委員会はすべての用務を終了し、解散。地域の皆さんが全面的に協力して大会を盛り上げたことは、来年の「晴れの国おかやま国体」成功への大きなかぎとなるでしょう。



大会報告がなされた総会の様子